

「長野県生まれの写真家たち」代表作品展トーク①のご案内
トークショー

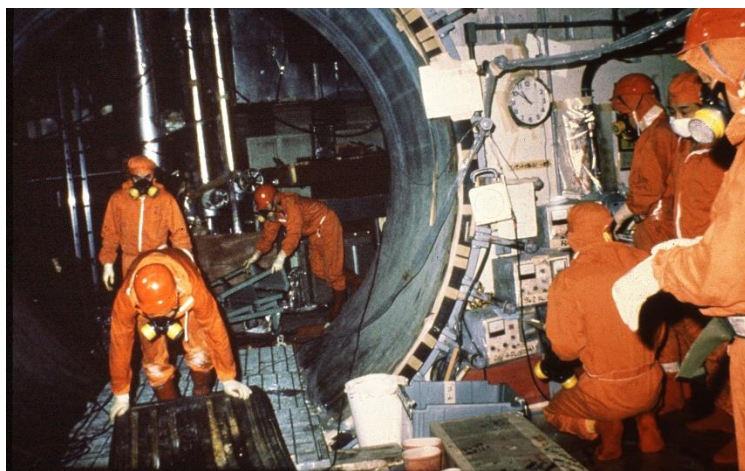
「写真の力とは」 —原発告発とスポーツ—

樋口健二氏 × 水谷章人氏

(富士見町出身・フォトジャーナリスト)

(飯田市出身・スポーツ写真家)

司会 立木寛彦氏 (諏訪市出身、撮影・取材・編集プロダクション(有)オフィス代表取締役)



樋口健二



水谷章人

平成26年7月6日(日)
午後1時30分～4時30分

会場：飯田市美術博物館講堂

聴講：無料 事前申し込み不要

樋口健二 1937年、富士見町出身。東京総合写真専門学校卒業後、同校助手を経てフリーのフォトジャーナリストとなる。2001年に反核NGOワールド・ウランウム・ヒアリング(本部・ドイツ)創設の『核のない未来賞』の教育部門賞を受賞。2011年、写真集『原発崩壊』で第17回平和・共同ジャーナリスト基金賞の大賞を受賞。日本写真家協会会員、世界核写真家ギルド会員、日本写真芸術専門学校副校長。3.11以後、全国130ヶ所で「原爆被曝の実態」の講演を行っている。

水谷章人 1940年、飯田市出身。1965年、東京総合写真専門学校卒業。以後、国内屈指のスキー、スポーツ専門のフリーランスカメラマンとして活躍、現在に至る。主な写真集に『極限の形象』『白銀の閃光』『美しき氷上の妖精たち』など多数、出版。個展は1970年の『限界に挑むスキー』から、2013年『水谷章人スポーツ報道写真展1968～2013』と毎年のように開催。受賞歴は1981年に第12回講談社出版文化賞、2002年に藤本四八写真文化賞、2012年にヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞功労賞など数多く受賞。日本スポーツプレス協会会長、日本写真家協会会員、日本写真協会会員、日本写真芸術学会会員、国際スポーツプレス協会会員。

「長野県生まれの写真家たち」代表作品展

会期：5月10日～7月13日(休館 毎週月曜日・6月17～22日、7月1日)

観覧料：大人310円(210円)、高校生200円(150円)、小中学生100円(80円)

「長野県生まれの写真家たち」実行委員会

飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 TEL 0265-22-8118 Fax 0265-22-5252